

## 2019年度 前田一步園財団自然環境保全活動助成事業 地域の子ども達と共に！サロベツ湿原を次世代へプロジェクト！

2020年5月1日

NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク

私たちは、国立公園であるサロベツ原野及び周辺の自然環境の保全、調査研究及び環境教育活動を通して、自然と人間との共存の大切さを啓発し、併せて地域の発展、町の活性化に寄与することを目的として活動を展開しております。

平成19年度より地域の子ども達を対象に、自然体験活動を推進している当活動は、地域の素晴らしさを伝えることで、人・地域・自然への愛着を深め、将来的にサロベツはもとより、幅広い場で活躍できる次世代の環境リーダーを養成するための基盤を作ることを目的としています。

本助成を受け、サロベツ湿原に生息する動植物の調査、カヤックを活用し水辺の環境を調べたエコキャンプ、サロベツ湿原へと流れる河川の源流部沿いを歩くフットパス活動などをおして、サロベツ湿原とその周辺の自然環境の現状について知り、環境に対する意識を向上させ、自然の素晴らしさ、ふるさとの大切さを改めて学ぶきっかけを作ることができました。さらに、普及啓発活動の一環として、ラムサール条約湿地である浜頓別クッチャロ湖ジュニアガイドアカデミーの子ども達と一緒に交流活動をしながら、お互いの湿地の魅力についてPRすることができました。その他、サロベツ湿原センターに来館された方を木道へ案内し、その時期に咲いている花や見られる野鳥について解説し、湿原の魅力を伝えることができました。また、豊富町内で開催された町民文化祭においては活動写真を出展できたことにより、町内外の方々に向けて情報発信することができました。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、当初2月に東京の葛西海浜公園で開催される予定であった、全国の湿地で活動する子ども達が集まり、交流を深めるKODOMOラムサールが中止となり、サロベツ湿原を代表する2名の子どもが参加出来なくなったことが非常に悔やまれるところです。

全体としては町の教育委員会にご後援をいただき、送迎バスを手配して下さるなど地域と連携した取り組みとして活動できたことが大きな成果となりました。

次年度以降も活動資金を確保しながら、サロベツの自然を学ぶ活動や、他地域との交流活動を継続的に行ない、次世代育成の場と定着するように推進していきたいと考えております。

一般財団法人前田一步園財団のご支援により、充実した活動を実施することができました。温かいご支援とご協力に深く感謝を申し上げます。



木道ガイド



湿原調査



子ども達の交流活動



カヤック